

竜王小学校 学校関係者評価書（後期）

平成 27 年 2 月 6 日（金）

竜王小学校学校関係者評価委員会作成

第 2 回 学校関係者評価委員会

実施日：平成 27 年 2 月 6 日（金）午後 3 時 30 分～4 時 30 分

会 場：竜王小学校会議室

参加者：（学校関係者評価委員）

＜学校評議員＞三井 譲 塚川美恵 八巻二葉 川崎友理

＜PTA 代表者＞田中佳織 伊藤けい子

（学校側）

校長 奥山賢一 教頭 小林治夫 教務主任 望月政幸

生徒指導 三井伸子

I 学校側から提案された内容

○第 2 回学校評価実施結果の概要について

- ・教職員自己評価の調査結果について
- ・保護者、児童アンケートの調査結果について
- ・昨年度・第 1 回、第 2 回の評価結果の比較と改善状況について（自己評価書）
- ・第 2 回の評価結果から見えた課題とその改善策

II 協議された主な内容

① 学校教育目標・学校経営、学校運営について

全般的に肯定的な回答が多く、取組状況は良好である。P→D→C→A サイクルを取り込んだ適切な学校経営への努力がなされていると思われる。職場の福利厚生については、今後も改善に努めたい。校内研究への関わりをさらに深められるような努力を続けたい。

② 学習指導について

全般的に肯定的となっている。昨年度、課題となってきた家庭学習については、よい方向に向いてきている。「質問・意見が出し合えるような授業」については、来年度、本校としての形を作りながら取り組みを進めていく必要がある。

③ 生徒指導について

日常より組織立てた体制で生徒指導に当たっている。児童や保護者にとって「相談できる先生」が増えてきている。さらに信頼関係を深めていきたい。

④ 地域との連携について

地域の方々の協力や力添えをいただき成果が出ている。今後さらにつながりを深められるような取組を模索していきたい。

⑤ 学校の特色について

あいさつ、学校開放日、教育機器等、学校の特色をこれからも大切にしながら教育活動を進めていきたい。

<学校関係者評価書>

I 全体評価

今回のアンケート結果から、学校の取組状況が分かる。職員が力をあわせて学校運営に取り組んでいる姿も理解できる。教職員には、今後もこのまま継続して頑張っていてほしい。

II 特 徴

○学校経営・学校運営について

- ・学習づくり、仲間づくりを中心に、意欲を大切にしたい学校運営を今後も心がけていきたい。
- ・児童にとって学校が楽しいと思えるよう、児童にしっかりと学力をつけるような学校づくりを心がけてほしい。

○学習指導について

- ・家庭学習の手引きを作成してもらい親としてありがたい。やり方がよく分からないので、今後も続けていく方向で考えてもらいたい。
- ・今後どのような取組を行えば、親が子どもの家庭学習に目を向けていけるか共に考えていきたい。
- ・創甲斐教育の家庭学習の目標時間について、親が見られない状況の家庭も多いのではないかと。塾などの時間も入れれば、もっと肯定率は上がるだろう。

○生徒指導について

- ・長期欠席児童などの状況、特に家庭の様子に注意を払い、一人一人に十分目が行き届くようにしていく必要がある。
- ・朝ご飯について、児童と保護者とのギャップが感じられる。児童の生活にとって基本的なことなので、意識していくことが大切になる。

○その他

- ・地域との連携は、学校の活性化につながる。来年度もよく考え、地域の教育力を取り込んでいきたい。
- ・児童の学校での姿と地域での姿に違いがある。そのことを認識しながら指導を続ける必要がある。

III 今後の課題として意識されたいこと

- ・前回までの評価書で取り上げた項目について、今回の評価結果と比較しており、その状況や改善に取り組んでいる様子を知る評価書となっている。今後も、引き続き成果が見られるものとしていくこと。
- ・特に、児童の生活状況の把握や課題となった授業づくりについては、全校的な取組を進めていくこと。
- ・より正確なアンケート結果が得られるよう、回答しない児童がいないような方法をとっていくこと。
- ・保護者や児童アンケート調査を有効的に活用し、学校運営、学習指導、生徒指導、地域との連携における問題点を把握し、今後の教育改善への取組を進めていくこと。

記載責任者（竜王小学校 学校関係者評価委員） 氏名：三 井 譲

